

選ばれる工務店が 3 年で 1000 棟を実現できる理由

正直建築に取り組んだ結果としての「成長」は、自然に起こります

「選ばれる工務店になれば、大きく成長できる」
これは希望論でも、根性論でもありません。

正直建築に取り組み、選ばれる工務店になった結果として、
3 年で 1000 棟という成長は現実的に起こり得ます。

本レポートでは、
なぜそれが可能なのかを、
精神論ではなく「構造」で説明します。

1. 成長できない工務店の共通点

多くの工務店が、

- 集客が安定しない
- 値引き競争から抜け出せない
- 人が育たない
- 忙しいのに利益が残らない

という状態にあります。

これは能力不足ではありません。
選ばれる仕組みがないだけです。

2. 選ばれる工務店になると何が変わるとか

正直建築に取り組むと、
工務店の立ち位置が根本から変わります。

- 売り込まなくても問い合わせが来る
- 価格比較だけの客が減る
- 価値を理解した施主が集まる

つまり、
「追う営業」から「選ばれる立場」へ
変わります。

3. 成長のボトルネックが外れる

選ばれるようになると、
工務店の成長を止めていた制約が外れます。

- 値引き対応に時間を取られない
- クレームが減る
- 現場の質が安定する

結果として、

- 人を増やせる
- 仕組み化できる
- 同時進行棟数を増やせる

という好循環が生まれます。

4. なぜ「3年で1000棟」が可能なのか

1000棟と聞くと、
非現実的に感じるかもしれません。

しかし、正直建築の仕組みでは、
1社で1000棟を建てる必要はありません。

- 共感する工務店が増える
- 同じ仕組みで動く
- 情報とノウハウを共有する

結果として、
チーム全体で1000棟という考え方になります。

これは、
無理な拡大ではなく、
自然な横展開です。

5. 数よりも先に、質が上がる

正直建築では、
数を追う前に質が上がります。

- 施主の理解度が高い
- 設計・施工の精度が安定する
- トラブルが減る

その結果として、

- 紹介が増える
- リピートが生まれる
- ブランドになる

数は結果としてついてくるのです。

6. 大きく成長しても、無理がない

一般的な拡大路線では、

- 人が疲弊する
- 現場が荒れる
- 品質が落ちる

という問題が起こりがちです。

しかし正直建築では、

- 役割が明確
- 責任範囲が整理されている
- ムダが少ない

ため、
成長しても無理がありません。

7. 建築サポートが示している現実的な未来

建築サポートの正直建築は、

- 選ばれる仕組みをつくり
- 工務店が本来の仕事に集中でき
- 業界全体で価値を高める

という方向を示しています。

その延長線上に、
3年で1000棟という成長があります。

8. 正直建築は 30 年前から始まっていた現実的な家づくり

この正直建築は、
最近思いついた理想論ではありません。

建築サポートが 30 年前から、現場で実際に取り組んできた
極めて現実的な家づくりです。

- 見積の中身を整理する
- 役割と責任を明確にする
- 施主が理解できる形で説明する

当時としては、
あまりにも正直すぎました。

9. 30 年前は早すぎた、10 年前もまだ早かった

30 年前の建築業界では、

- 情報は業者側だけが持つもの
- 原価を説明する文化がない
- 施主は任せられる存在

という時代でした。

10 年前になっても、

- ネットはあっても情報は断片的
- 比較するには知識が足りない
- 見積の本質は見抜けない

正直建築は、
時代が追いついていなかったのです。

10. そして今、ベストタイミングが来た

今は、決定的に違います。

- 誰もがネットで情報を調べられる
- AIを誰もが使える時代になった
- 比較・整理・理解が一気に進んだ

施主が、

- 疑問をてる
- 判断できる
- 主体的に参加できる

時代になりました。

正直建築が成立する条件が、すべて揃ったのです。

11. 今の建築業界が抱える限界

現在の建築業界は、

- 不透明な見積
- ブラックボックス化した原価
- 大手ハウスメーカー主導の家づくり

が、いまだに主流です。

これは悪意ではなく、
長年続いた仕組みの結果です。

しかしこの仕組みは、

- 施主の不信感
- 価格への違和感
- 工務店の疲弊

を生み続けています。

12. 正直建築は業界を劇的に変える

AIとデジタルの力によって、

- 見積を分解できる
- 原価を整理できる
- ムダを可視化できる

時代になりました。

これは、
一部の専門家だけの話ではありません。

誰もが正直さを確認できる時代です。

だからこそ、

- 不透明な建築は選ばれなくなり
- 正直な建築が当たり前になっていく

という流れは止まりません。

13. これは革命ではなく、必然

正直建築は、
業界を壊す革命ではありません。

- 本来あるべき姿に戻す
- ムダを削ぎ落とす
- 信頼を取り戻す

建築業界の正常化です。

30年前に始まり、
今ようやく時代が追いついた。

これが、
建築サポートの正直建築です。

まとめ

正直建築は、
新しい手法ではありません。

長年の現場経験から生まれ、
時代を先取りしすぎていた家づくりです。

そして今、
AIと情報公開の時代になり、
ようやくベストタイミングが訪れました。

これから選ばれるのは、
正直であることから逃げない工務店です。

それは、
とても自然で、
止められない流れなのです。